

スレート屋根材は、新築時から強度が約2割減だった【屋根ラボ検証第1弾】

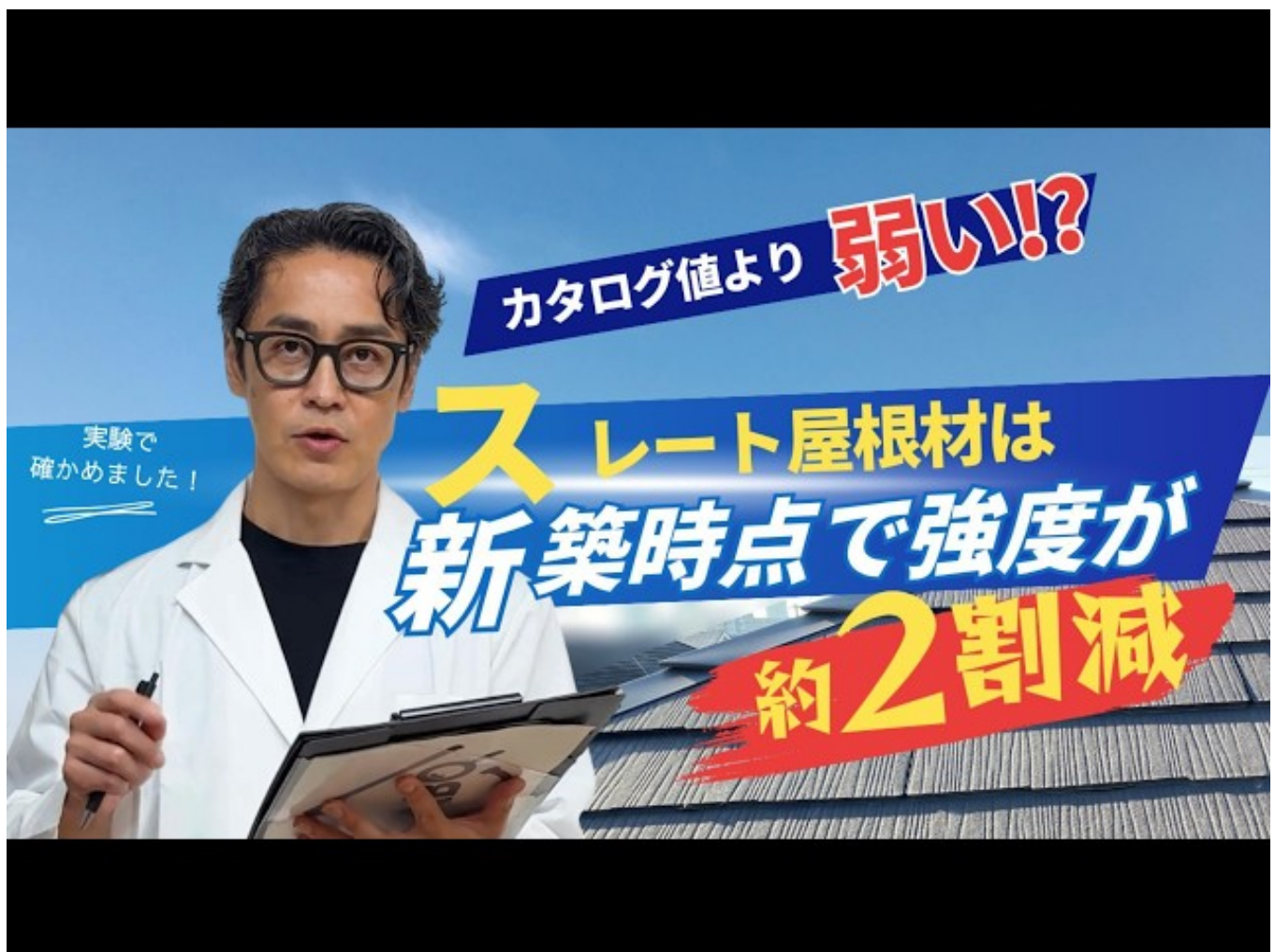
耐風性能・補強基準への影響は？「経年劣化」ではなく「初期不良」ではないのか？

2026年9月21日

報道関係者各位

株式会社石川商店 代表取締役

屋根ラボ 主任研究員 石川 弘樹



<https://www.youtube.com/watch?v=iNDefHRc0YU>

■ 無石綿化粧スレートの実状

屋根ラボの本格始動第1弾として、国内の多くの戸建て住宅で採用されている「無石綿（ノンアスベスト）化粧スレート」の耐風強度検証結果を公表しました。

無石綿スレートになってから、屋根材の強度不足が懸念されています。

築10年以降でのひび割れの多発により、カバー工法を余儀なくされる状況も少なくありません。

それにも係わらず平然と使用され続けているのが、業界の現状です。

今回、屋根ラボでは、

- ・無石綿（ノンアスベスト）化粧スレートの実際の強度はどうか？
- ・ひび割れは本当に「経年劣化」だけが原因なのか？（施工時の問題ではないか）
- ・カタログ上の耐風強度数値（公式試験値）と実際の強度に差はないか？

の3点について、検証しました。

■ 検証結果

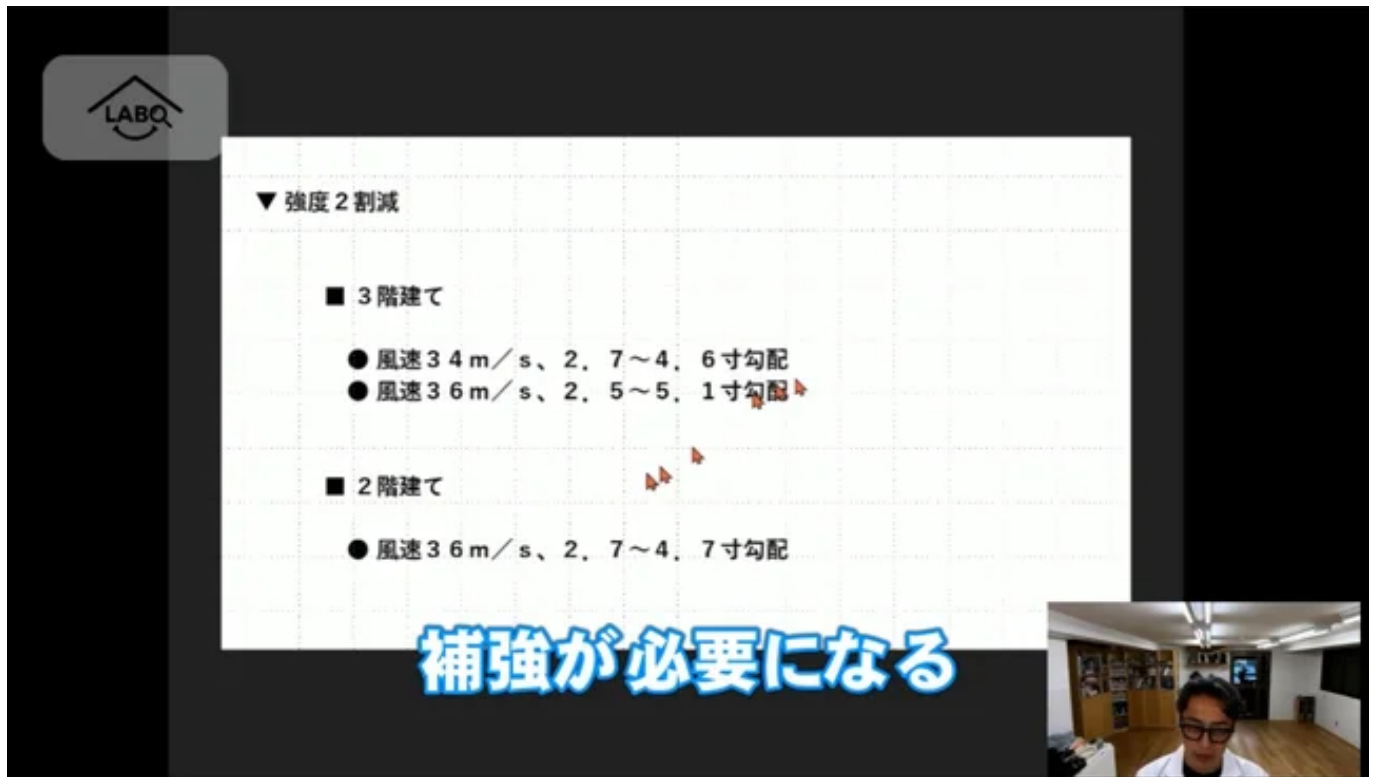


- ① 通常施工（釘打ち＋踏み込み）を行うと、目に見えないひび割れが発生する
- ② 無傷＆ビス固定の試験体：カタログ値に近い数値（約576N / 公式値約601N）
- ③ 通常施工（釘打ち＋踏み込み）試験体：強度が約473Nへ低下（約18～20%減）

■ 構造的な2つの問題の提起：耐風性能不足と「建材保証の壁」

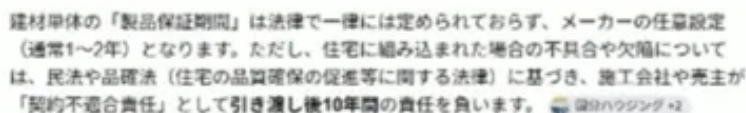
実験で露呈した数値の低下は、法的・実務的に極めて深刻な2つの危機を招いています。

① 耐風性能の設計破綻



設計上、メーカーの「通常工法」で安全とされていた基準風速地域（34m/s、36m/s以上等）において、実態強度が2割不足している事実は、暴風時に屋根材が飛散する潜在的な危険性を意味します。本来必要であったはずの補強工法が、誤った前提（カタログ値）によって見送られている懸念があります。

② 通常施工で強度2割減は「不良品」ではないのか？



- ・構造耐力上主要な部分・雨水の浸入を防止する部分 品種法・民法により10年間（基礎、柱、屋根、外壁など）
- ・その他の内装・設備などの部分 民法の原則に基づき契約不適合責任を追及できるが、実務上は1～2年とされることが多い [eh.apenthouse-group...](#)

- ・一般建材・サッシ・内装材：メーカーや商品ごとに設定され、引き渡し後1～2年間が主流（雨漏り防止のサッシ等は10年とする場合もある）

- 責任の所 **建材保証の2年が** ーカー

具体的な建材の部位や、現在起きている不具合の状況について教えていただければ、さら

責任の所、**建材保証の2年が**
 具体的な建材の部位や、現在起きている不具合の状況について教えていただければ、さら
不良品の保証期間なんです

これは、メーカーや施工店がリコールやコスト増を回避するために黙認してきた、業界ぐるみの「無責任の体系」と言わざるを得ません。

それがなぜ今まで表沙汰にならないのでしょうか。

実際にスレート屋根の築10～20年の一戸建てで、金属屋根材によるカバー工法が流行しています。

② スレートは生産性が高く、合理的な経営に適している

スレート屋根材は瓦に比べて、重量と体積は少なく施工速度が速いです。

そのため在庫・運搬効率、1棟あたりの完了速度などの生産性が高くなり、屋根屋が経営効率を考えると、スレート屋根材の施工を数多くこなしていくことが合理的な選択です。

■ 業界の透明化に向けて

屋根ラボの本調査結果は、屋根と一戸建ての業界関係者に対し、これまでの慣習を改めることを迫るものです。データの透明化は一時的な摩擦を生むかもしれませんが、長期的には住宅価値の保護と、施工品質の健全化という共通利益に直結します。

住宅業界の健全な発展を阻む不都合な真実を、科学の力で白日の下に晒し続けます。消費者が真に安全な住まいを手にする社会の実現に向け、徹底した情報公開を推進してまいります。

今後も、現場の真実を数値で裏付ける活動を継続します。本報告をきっかけに、不透明な建築業界の透明化に向けた議論が加速するのであれば、なによりです。

■ 本件に関するお問い合わせ先・会社概要

「現場を見てきた屋根屋」だからこそ到達できる真実があります。検証データの詳細や取材のご依頼については、下記までお気軽にお問い合わせくださいませ。



1951年創業
東京都品川区
株式会社石川商店

事業部：屋根ラボ

企業名：株式会社 石川商店

代表者：代表取締役 石川 弘樹

所在地：東京都品川区荏原2-2-3

サイト：riverstone-roofing.com

電話：03-3785-1616

メール：hiroki@riverstone-roofing.com

株式会社石川商店のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/191254